

全世界に出て行き、すべての造られた者に、福音を宣べ伝えなさい。

2019年2月 海外伝道ニュース 発行：日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団海外伝道部



Japan Assemblies of God  
日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団

# 海外伝道

〒170-0003 東京都豊島区駒込 3-15-20 郵便振替口座 00120-9-15702 <http://kaigai.ag-j.or.jp/>



海外伝道部長 藤沢オリブチャペル

藤村良彦師

第五回世界アッセンブリー宣教大会が昨年十月、スペインの首都マドリードで行われました。宣教部門責任者会議に出席し、さまざまな国でなされている働きを学ぶことができ、大きな刺激となりました。百カ国から千三百名を超える参加者があり、福音未伝達地域への伝道、また宣教師派遣のために祈る時となりました。

スペインはカトリック国であり、ヨーロッパ全体で教会離れが進んでいると聞いていましたので、「果たしてどのような場所で集会が行われるのだろうか」と思っていました。宿泊場所周辺は昔ながらの町並みで、千名を超える参加者が入ることができ建物の、またプロテスタント教会を初日に見つけることはできませんでした。しかし、二日目に大会会場を探し、中に入って驚きました。小さな入り口を通り抜けると、そこには千人ほどが入ることが出来る会堂がありました。帰国後に知りましたが、二〇一八年の一年間で、スペインのプロテスタント教会全体で百九十七教会が新設されたそうです。二日に一つ、教会が生

み出された計算になります。静かなりバイバルが始まっていました。

日本アッセンブリー教団は創立七十五周年の取り組みとして、さらなる宣教師の派遣を掲げています。これから三年間を候補者の発掘に重点に置いて活動します。少しでも興味のある方には、いつでもどこでも出向いて説明いたしますのでご連絡ください。すぐに献身しなくても構いません。数年かけて準備し、計画します。

まだ福音が届いていない地域が、世界にはたくさんあります。日本人宣教師はこの国からも必要とされています。まずは一度、宣教地を訪問・見学してみたいかがでしょうか。今年は三月と八月にフィリピン、七月に台湾ツアーがあります。御教会の代表として、となたかを送り出してください。御教会の代表として、となたかを送り出してください。御教会の代表として、となたかを送り出してください。御教会の代表として、となたかを送り出してください。

一つの教会ではできないことも、みんなで力を合わせるならば大きな働きとなります。世界宣教は全員で取り組むべき課題です。私たちには世界の人々に仕えるチャンスが与えられています。ぜひこの働きに加わってください。

## 関本宣教師の巡回



「それから、二人はフィリピン州を通り、パンフィリア州に至り、ペルゲで御言葉を語った後、アタリアに下り、そこからアンテオキアへ向かって船出した。そこは、二人が今成し遂げた働きのために神の恵みにゆだねられて送り出された所である。到着するとすぐ教会の人々を集めて、神が自分たちと共にいて行われたすべてのことと、異邦人に信仰の門を開いてくださったことを報告した（使徒言行録十四：二四～二七）」



パウロとバルナバはアンテオケ教会から派遣され、宣教の恵みを分かち合うためアンテオケ教会に戻りました。最初の巡回です。二〇一九年三月一日から関本英樹宣教師（フィリピン）の巡回が始

まります。宣教師は自らを派遣した諸教会に戻り、再びそこから遣わされます。海外宣教の主体は教会であり、宣教師個人ではありません。宣教師の巡回は、教団全体が行う海外宣教の一部です。

宣教師の巡回の目的は、①宣教師のこれまでの活動について報告し、献金と祈祷に関して感謝を表すこと。②宣教師の働き、状況を理解していただき、続けて祈っていただくこと。③宣教師が次の任期のための予算が満たされるように、諸教会にご理解とご協力を呼びかけることです。予算が満たされてはじめて宣教地に派遣されます。

宣教師の生の声で現地での活動をお伝えします  
(長澤牧人)。

### 巡回日程

四国教区	3月1日(金)－8日(金)
九州教区	3月9日(土)－26日(火)
関西教区	3月27日(水)－4月25日(木)
関東北東教区	4月26日(金)－5月24日(金)
沖縄教区	5月25日(土)－31日(金)

## フィリピン・バギオ体験ツアー



- ◆期間 二〇一九年三月二日(木)～三〇日(土)
- ◆費用 十五万円【二五歳以下は十四万円】◆定員 十五名
- ◆対象 所属教会牧師から推薦された高校生以上の方及び家族同伴者のある中学生
- ※十五歳まではバギオが必要となることがあり、早めの対応が必要です。
- 申し込み締め切り 二月十七日(日)

○費用には、国内移動以外の交通費、空港使用税、宿泊費、食費が含まれています  
(自宅から出国空港までの移動費は自己負担となります)。旅行傷害保険は含まれておりませんので、各自で必ず保険にご加入下さい。

○お申し込みが確実でない場合でも、チケット確保のため、事前にご連絡くだされば対応いたします。

○パスポートの取得に時間がかかります。六ヶ月以上の有効期限が必要です。お早めにご準備下さい。

○出発は成田空港及び関西空港です。他をご希望の場合はご相談下さい。

○最小催行人数は三名です。人数に満たない場合はツアーを中止する場合もあります。最終締切り後にご連絡いたします。

お問い合わせ 平松 敏 (桶狭間キリスト教会牧師)

FAX 〇五六二一九七三〇〇一 電話 〇八〇四三〇八二六九九

メール okahazama.christchurch@gmail.com



## 新しい海外伝道部員の紹介



高槻キリスト教会

福井美由記師

この度、新しく海外伝道部員として加えられた高槻キリスト教会の福井美由記と申します。

海外伝道部員としては新米の私ですが、海外宣教体験ツアーには、過去に三回（フィリピン二回、モンゴル一回）参加させていただいたことがある、いわゆる「リピーター」でした。

最初に体験ツアーに参加したのは、まだ十代の頃です。宣教師のことも、海外宣教についても、まったく分からず、ただ母教会の先生に誘われるがまま参加したツアーでしたが、そこで目にしたこと、聞いたこと、経験したこと全てが当時の私の心に大きなインパクトを残しました。



教会の礼拝へ何時間もかけて歩いてやってくる方々、私たちの重い荷物を笑顔で運んでくれる山岳地の子どもたち、自分たちの日々の食事さえままならない状況の中で、とっておきのご馳走を喜んでふるまってくださった現地の方々の顔を今でも鮮明に思い出します。

「日本からのツアー一行がやってきた」と聞くと、遠くから近くから山を越えて集ってくださり、長い説教でも目を輝かせながら食い入るように聞き、説教が終わっても、「もう終わりの？じゃあ次の先生お願い。」と、尽きる事のない御言葉に対する希求…それはもう、衝撃的な体験の数々でした。

戦争時代に日本から受けた傷を持ち抱えながらも、なお、主にあって赦すこと、愛することを選び取り、わたしたちの訪問を心から喜んで受け入れてくださった方々の信仰姿勢が、自分自身の信仰や召命と向き合う中で欠かすことのできない大きな影響を残してくれました。

そのようにツアーの恩恵を受けた私が、今度は海外伝道部員として働きに携わることができるとも、新たな主の恵みと受け止めています。海外での働きを宣教師から聞くだけではなく、実際に「訪ね」、「見る」こと、「体験すること」によって、より一層宣教に対する想いと祈りが篤くされていくことと思います。

海外伝道部としても発信力を高めていくことが課題とされていますが、是非一緒にツアーに参加していただき、海外伝道の働きに「理解、ご協力いただけましたら感謝です。」

欠けの多い者ですが、この働きのために覚えてお祈りいただけましたら幸いです。





## アッセンブリー教団といえば海外宣教、その逆もまた真なる

全世界のアッセンブリーズ・オブ・ゴッドの諸教団は、世界最強の海外伝道集団と云っても過言ではありません。

『二〇一八年度世界アッセンブリーズ・オブ・ゴッド連盟レポート』から、世界アッセンブリーの海外伝道の状況をお知らせします。

百六十二カ国のアッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団のうち、一〇二カ国の教団が海外伝道部を擁しています。ちなみに、二〇二二年度に海外伝道部を有したのは八十三カ国ですから、過去六年で十九カ国のアッセンブリー教団が、新たに海外伝道を始めたとことになります。

例えば、イタリア・アッセンブリーは二〇二二年には海外伝道部が存在しませんでした。二〇一八年には二十一名の宣教師を十カ国に派遣し、年間五千二百八十万円の海外宣教予算にまで成長しました。

世界のアッセンブリー全体で派遣している宣教師の数は、二〇一八年の時点で六千八百六十八人、約二百カ国で海外伝道を展開しています。国連加盟国が百九十三カ国ですから、国連加盟国数を上回っています。そしてなんと、全体で約三百六十一億円の海外宣教献金を年間に投じています。

では、どついつう人たちを対象に海外伝道しているのでしょうか？世界のアッセンブリーの宣教師のうち、まず四十五%が無宗教の人たちに伝道しています。次に三十一%が部族宗教ないしはアニミズムの人たちに伝道しています。三番目がイスラム教徒で十五%。四番目の対象がヒンズー教徒で六%。最後が仏教徒でわずか三%です。

驚くべき事実は、世界に占める膨大な仏教徒の人口に比べて、わずかなアッセンブリーの宣教師しか仏教徒伝道に従事していない点です。二〇一八年度の『世界アッセンブリーズ・オブ・ゴッド連盟レポート』は、注目すべき課題として強調しています。

海外宣教のタイプを四つに分けて、①教会開拓、②人道援助、③伝道（大学生伝道・大衆伝道など）、④教育（神学校教育など）とするならば、アッセンブリーの海外宣教はどついつう割合になるでしょうか？一番多いのは教会開拓で三八%です。伝統的にアッセンブリー教団は国内・海外を問わず開拓伝道を重視してきました。アッセンブリー教団のDNAです（そしてパウロの霊的DNAです）。二番目に多いのが伝道で二十三%。三番目が人道援助で二十一%。イスラム諸国のように宣教師ビザで入国できない国々では、表向き援助団体の名目で宣教師が活動している事情が反映されているのかもしれませんが。最後は教育で十八%となります。

アジアのアッセンブリーには目覚ましい動きがあります。ニュージーランド・アッセンブリーは教会数（二百三十五教会）で言えば日本アッセンブリー教団（約二百二十の教会）と同じぐらいの規模ですが、総勢六十二人の宣教師を派遣しています。日本アッセンブリーが四十四教会ごとに一人の宣教師を派遣しているのに対して、ニュージーランドは三・七九教会ごとに一人を派遣している計算になります。お金の観点から言えば、シンガポール・アッセンブリーの活躍も注目されています。年間十五億円の献金を海外宣教に投じています。

アッセンブリーと云えば海外宣教、海外宣教と云えばアッセンブリー。多くの祈りと人材と献金を海外宣教に注いでいます（長澤牧人）。